

子ども祝福礼拝 ルカの福音書 7 章 1-10 節「百人隊長の信仰」

小池 宏明 牧師

今日は、子ども祝福礼拝をおささげする。今日の説教はイエス様を信じた百人隊長のお話である。ルカ 7 章に出てくる百人隊長は、ガリラヤ湖北部にあるカペナウムに駐屯しているローマ帝国の軍人であった。イエス様の時代、ユダヤ地方がローマ帝国に支配されていた。それで、ローマ帝国から軍隊が来て、ユダヤの人たちが反乱を起こさないように見張っていた。人々はローマの兵隊たちをととても怖がっていた。しかし、武力で脅すのではなくて、優しく民を治めようとする兵隊もいたのだ。これは珍しいことだが、この百人隊長は、誰に対しても、とても優しい人物であった。

*信仰が認められた百人隊長

ある時、この百人隊長の大切なしもべの一人が、重い病気にかかってしまい、もう死んでしまいそうになった。百人隊長は、何とか助けようとする。それで、すごい能力があると噂が広がっているユダヤ人のイエスという男に助けを求めようとした。それで、百人隊長はユダヤ人の長老（リーダー）たちに頼んで、イエス様に助けに来てもらおうとした。ところが、それに応じてイエス様が百人隊長の家に近づいて来られると、百人隊長はイエス様に友だちを送り「ただ、おことばを下さい。おことばによって私のしもべを癒やして下さい。」(7 節) と伝言した。イエス様にわざわざ来て頂かなくてもよいと考えたのだ。この百人隊長は本当に神様を畏れる謙遜な人だった。そして、彼は、自分の言葉でしもべや兵隊たちを従わせることができるのだから、自分の言葉とは比べものにならないほどの権威を持っておられるイエス様が、その口からことばを発すれば、必ずその通りになると、信じ切っていたのだ。イエス様はこの隊長の信仰を驚くほど喜んだ。しもべは、良くなった。イエス様が、病気が治るように命じられたからだ。

*イエス様を信頼して祈ろう

この百人隊長は、イエス様のことは知っていたが、一度も直接会わずに、イエス様を信じて、イエス様のことばには力があると信じた。百人隊長は、イエス様の大きな力、御ことばの権威を完全に信じ切っていた。私たちも直接イエス様に会っていないが、この百人隊長を見倣って、イエス様の権威を信じて祈り続けよう。

*暗唱聖句

「信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを確信させるものです。」ヘブル人への手紙 11 章 1 節